

佐竹びじょん



SATAKE VISION

[新年度のスタートに思う]

新年度がスタートし1カ月たち、官公庁はもとより民間企業や各種団体、学校などあらゆる組織が新しいスタートを切りました。

県でも人事異動後の新たな体制で、今年度からスタートする「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づき、各部局の施策・事業に一斉に取りかかっているところです。

最重点事業は人口減少対策です。

本県人口は昨年4月に100万人を割り込みましたが、少子高齢化による避けられない自然減が大き

く、これに若い人の県外流出による社会減が加わり今後も減少は避けられません。

しかし、自然減は避けられないものの、若い人が県外に出て行く社会減は別です。

今、本県では多くの職種で人手不足の状態ですし、優良な誘致企業や成長著しい地元企業が増え、給与・福利厚生など処遇改善も進んでおり、生きがいを見いだせる一生の職場が増えています。

大都会や大企業への憧れ、さまざまな職種の選択など人それぞれですが、今一度足元もしっかりと見ていただきたいものです。

清浄な故郷で家族や友人たちとともに、心豊かに暮らす道も人生の選択の一つではないでしょうか。